



クラシカルホメオパシー

基本講座 3

～怪我の時の対処法～

怪我とは何でしょうか？
偶然に起きる災難とお考えでしょうか？ご自身の
経験や周りの方の怪我についてよく考え直して見
てください。意外な発見があるように思います。

CHK クラシカルホメオパシー京都

3-1：前回の反省と今日の学習ポイント

まず、皆さんにご質問します。

Q. 6つの根本体質レメディは何でしたか？それぞれの特徴を言ってみましょう？

[]

レメディについて再度復習します。

- 1) レメディの文字だけでの丸覚えは役に立ちません。慣れるまでに時間はかかりますが、「レメディの全体像（イメージ）」で覚えるようにしましょう。それと「その人の全体像」を比較して”類似性”を見つけることが大切です。
- 2) レメディが「その人」と類似したとき、「回復の過程の一時的悪化（好転反応）」が現れます。これを病気の進展と考えてしまいがちです。これが出始めた時は、レメディを投与しないで下さい。まずは、待つ”経過を観察”して下さい。そのまま自然軽快することも多いのです。慣れるまでこれがなかなか出来ません。
- 3) 見極めは下記「ヘリングの法則」を参考にして下さい。強い急性症状ほどすぐに(2～3時間で)変化が現れます。現れなければ、レメディが不適切と考えて下さい。そして、”新しい症状像”に対して再検討・投与しましょう。子供の場合、ぐったりした感じがある時はためらわず、病院に行きましょう。病院での薬を飲んだ後にでもホメオパシー的にできることがあります。あれこれ迷うことは子供に不要な不安などを与えてしまい、むしろ子供の症状を悪化させる原因になるからです。
- 4) 「症状」は悪いことではなくて、生命力 (V・F) の正しい働きの現れ。それは「治癒の始まり」であり、「表現（異常のお知らせ）」です。レメディには治癒能力はありません。レメディに出来ることは”治癒の方向に手助けすること”に限られます。症状を抑制することは、生命力 (V・F) の働きにブレーキをかけることになります。
- 5) ヘリングの治癒の法則（レメディの働きが治癒の方向にあるか？の判断基準）
これは必ず、覚えて下さい！
 - ・中から外へ（熱・下痢・嘔吐・むかつき・発疹など）
 - ・上から下へ
 - ・心から身体へ
 - ・より重要なところからそうでないところへ
 - ・最近に出た症状から、次第に古い症状へ

※特に慢性病では本人が一番治したい症状が最初に軽快するとは限りません。それはV・F（生命力）次第です。レメディが何か”治癒したり、作用する”ことはありません。治癒はあくまでもその人のV・F（生命力）がするものです。"人を治癒するものは、薬でもレメディでもなく、V・F（生命力）だけです。

今日は「主にケガに使われるレメディ」＝9個（10個）

→ これで19個になり全体の約半分まで学ぶこととなります。最初は一覧で覚えて下さい。似たような名前が多く覚えにくいからです。

1. ケガ

- Arn. アルニカ＝打撲的ケガ・出血（鼻血も）～応用範囲が極めて広い
- Hyper. ヒペリクム＝神経の Arn. アルカと呼ばれる。
- Calen. カレンジュラ＝消毒レメディ
- Led. リーダム又はレドゥム＝深い傷（類：Hyper.）
- Ruta. ルータ＝捻挫[骨・関節・手首・足首・臍]と疲れ目)
- Rhus-t. ルス・トクス＝捻挫・筋違い・筋肉の痛みと強ばり。それを伴う風邪にも効果)

2. 腫れ・化膿・火傷

- Apis. エイピス又はアピス＝腫れ・火傷
- Canth. カンサリス＝火傷（ぼうこう炎にも効果）
- Hep. ヘパ・サルフ又はヘパル・スルフ＝膿む

3. その他

- *Carb-v. カーボ・ベジ＝生き返りのレメディ（酸欠）（類似：Chin. チャイナ）

3-2：怪我とは何か？

まず、「怪我とは何でしょうか？」ただ”偶然に起きる災難”とお考えでしょうか？ご自身の経験や周りの方の怪我についてよく考え直して見て下さい。意外な発見があるように思います。では具体的にレメディの勉強を始めましょう。

3-3：怪我の際の代表レメディ 4つ

<Arn. アルニカ うさぎぎく>

「孤高の植物＝Dignity」

山頂に生息。生息土壌が荒れている場所で健気に咲く黄色い花。

打撲的怪我＝強く頭を打った等、皮膚が破れていないもの。鼻血・それによる恐怖

「ケガ・出血・事故の場合即 Arn. を！」手術前にも良い。（不安を和らげる）

応用範囲がとても広い。持ち歩くと良い。

※とても深いレメディでもある。「心の怪我＝トラウマ」

（ケース紹介：ひどいニキビで悩んでいる若い女性）

● 状態

- ・ニキビが左右対称に出る
- ・生まれる前にお母さんが階段から落ちた。
- ・何故落ちたか？ ・ ・ お母さんがせっかちでいつも時間が足りないと焦っていた。片づける時間がなくやることばかりが増えて行く。
「落ちたという打撲的ショック+その時のお母さんの精神状態。」が「Arn. 的」

ここでは、何十年も前の胎児であった時のトラウマが「今」の「彼女」に影響しているケースです。「トラウマ」は生まれる以前から影響がある。

Arn. で快癒。ニキビの改善と共にせっかちな感じも緩和。こうしたトラウマ的レメディは他にも多くある。Acon. もそのひとつ。もし問診するとしたら「不調はいつからですか？」と質問すること。そこに重要なポイントがあります。

● レメディポイント

1. ちょっと触れても痛く、打撲した感じ。怪我。
2. 触られたり、近づかれたりする事を恐れる。
3. 不快で悪臭を放つ排出物。
4. 頭は熱く、体は冷たい。
5. 睡眠から始まる（事故や突然の恐怖や驚きなどの後）<夜。* <印は悪化

● その他の特徴

- ・重病なのに平然としている。

例：「医者はいらない。大丈夫。ほっといてくれ。」医者嫌い。医者不信。

- ・触られるのが嫌。一人にして放っておいて欲しい。
- ・顔が赤い。・肉体的疲労 ・すぐ青アザが出来る。
- ・表面的外傷だけでなく、出産後、手術後、尿道結石の処置後などにも良い。
それはある種のショック後であり、「傷」でもあるから。
- ・湿疹が左右対称に出ることがある。（アルニカの生息の姿と類似）
- ・ベッドが固いと感じる。

<Hyper. ヒペリクム オトギリソウ>

● ポイント

- ・通称「神経の Arn.アルニカ」破れた傷に使う。手術後にも良い。
（個別にはマテリアメディカ参照のこと）
- ・もし膿みそうなら Calen. カレンジュラを使う。（消毒効果を期待）
- ・胃潰瘍の傷にも良い。 ・床ずれにも良い。
- ・尾てい骨をドンと打った時。ここは脳神経の末端。神経を痛めた後の神経痛。
- ・汚いケガ（犬に噛まれた時など） ・産後尾てい骨が痛い時（座骨神経痛）
- ・生理前に身体全体が悪化する時使うレメディのひとつ（他にも多数あるが・ ・）
- ・破傷風の予防にも使う。

<Calen. カレンジュラ キンセンカ属>

- ・傷の消毒＝傷口が開いている傷。皮膚が破れている。
- ・化膿予防。

● 補足

- ・手術前に Arn. 手術後に Calen. が一般的。いずれも外用クリームがある。

※備考

レメディの原料はパワーをもつものが使われる。ハーブや毒物が利用されているのはそのため。「影響を与えるだけの強いエネルギー」を持ち合わせている。

<Led. リーダム又はレドゥム ラブラドル茶／湿原の植物>

- ・Hyper. ヒペリクムより深くて細い傷に良い。破傷風予防に最適。
- ・人間嫌い。孤独。細かいことが気になる。心の傷も類似の形。

● その他特徴

- ・冷たい湿気で好転。
- ・寒がりだが暖かいベッドで悪化。
- ・足を冷水に入れると好転。(痛風の症状に類似)
- ・虫・蚊に刺された時にも効果。

3-4：捻挫した時の候補レメディ2つ

<Ruta. ルータ ミカン科の多年草。(類：Rhus-t.) >

「捻挫レメディ」動きとの関係が深い。骨・筋肉・関節・腱・動脈・目

● その他特徴

- ・じっとすると悪化。
- ・目を使った後、火のように燃える。ボヤーと見える。眼精疲労。
- ・食べてすぐ腹が減る。
- ・食べてもどすが、牛乳で好転。
- ・冷たい水を飲みたがる。
- ・筋肉・関節痛は押さえると好転。
- ・転びやすい。「捻挫のレメディ」だが捻挫しやすい人とも言える。
- ・釘で刺されるような頭痛。
- ・暖かい部屋で好転。

<Rhus-t. ルス・トクス つたうるし。>

皮膚、関節、粘膜（胃腸）に関係が深い。関節筋肉の痛みを伴う風邪にも卓効。

● ポイント

（精神）・ひどいいらつき。心身共にいつもじっとしてられない。

（うるしかぶれをイメージして下さい。）

- ・痛くても動く。そして、動くで改善する。
- ・リウマチ・関節痛・ギックリ腰に効果。
- ・夜に不安。

● その他の特徴

- ・冷えて、湿気があると悪化。
- ・舌が白い。先だけ赤い。
- ・喉が渴く。しかし、冷たいものを飲むと悪化。
- ・湿疹＝痒くて痛い。熱い。汚い湿疹。慢性湿疹に効果。

● 補足

繰り返しますが「全体的な症状像（イメージ）」が合うかどうかポイント。あらゆることにおいてこれが大切！例えばリウマチの症状でも、「痛い」と言いながらも動いて良くなる場合は Rhus-t.ルス・トクスだが、痛いと言ってじっとしている方が良い場合は Bry.ブライオニアの方が適する。「病名」ではなく「全体的な症状」を見ること。

3-5：腫れ・化膿・火傷の時の候補レメディ 3つ

<Apis. エイピス又はアピス 蜜蜂>

- ・蜜蜂に刺された時と同じ症状には効果あり。＝「腫れて熱く赤く」なる
- ・別名「未亡人のレメディ」＝元気なのに働けなくてストレスへ
ジェラシー・怒っている・気むずかしい・オッチョコチョイ・あきらめやすい。
ワーカホリック。

● ポイント

- ・焼ける様な／針で刺す様な痛み；<熱；>冷やす。 *>印は好転を示す。
- ・ピンク色、蠟のように青白く透けて見える腫れもの、触られる事や圧迫に極端に敏感
- ・嫉妬深い、空しい忙しさ、そわそわする；ぎこちない。
- ・右側の疾患；又は右から左へ。
- ・温血。
- ・喉の乾きがない。

● 補足

- ・扁桃腺の炎症にも効果。
- ・暑がり。暖かい部屋で悪化。
- ・冷たい湿布で好転。
- ・皮膚疾患。
- ・急性の炎症には全て効果。例えば卵巣炎。
但し、右側。又は右に始まり左へ広がる。
- ・溶連菌の炎症にも（類：Bell.）
- ・ポリオ予防接種後の不調に。（症状イメージが合えば）
- ・脳炎のような症状。
- ・火傷にも良い。（腫れて熱く赤い時）
- ・痛みの場所が良く変わる。

<Canth. カンサリス スペイン蠅>

「火傷・膀胱炎のレメディ」

これに刺されると叫ぶくらいの焼けるような痛みがある。皮膚にブツブツが出る。更に尿管にも影響を与える。

- ・「激しい」がキーワード。
- ・近づかれるのを嫌う。叫んだり・かんだりする。
- ・性欲がとても強い。（膀胱炎の時は特に）しかし、SEXで悪化。
- ・水で悪化。
- ・眩しいものを見て悪化。

● 備考

抗生物質を飲んでいるときはレメディの効果は出にくいことに注意。

<Hep. ヘパ・サルフ又はヘパル・スルフ (P.156) > 作り方=牡蠣のカラ+硫黄

「化膿して痛む時」に良い。※非常に深いレメディでもある。

中心テーマは「あらゆるレベルで無防備・過敏」です。何のバリアもないかのような「生（なま）」の感じ。この人はまず安全でないという感覚が出る→「守ろう」とする→「安全・お金・地位」にこだわる+激しい反応。

● ポイント

- ・痛み・寒さなどちょっとしたことにひどく敏感。
- ・暴力的で激しい。人を脅す。不作法。突然の殺意の衝動（行動まで行かない）
- ・ひどい寒がり。（最も寒がりなレメディのひとつ）
- ・酸っぱいものや刺激物を求める。
- ・縫うような痛み。割れるような感じ。

- その他の特徴
 - ・スカーフを暖めてから巻く。
 - ・晴れた時悪化、湿気の多いとき好転。＝とても珍しい。
 - ・普通より痛みを深く感じる。他人の苦しみに共感。悲しいストーリーは聞けない。
 - ・放火する人に多い。

3-6：その他・生き返りのレメディ

<Carb-v. カーボ・ベジ 木炭>

- 「生き返りのレメディ」＝酸欠状態に効果。脱水状態では→Chin. チャイナを使う。
- ・「生（せい）」に無関心・無頓着。青白い顔で生命力が低下している感じ。
 - ・欧州では昔からお腹の薬としても利用されている。ガス抜きや便秘に。
 - ・胃腸の不調に使うという意味では「Nux-v. ナックス・ボミカ」にも似ている。
- Nux-v. で改善出来ないときにこれを使う。

※要注意：衰弱している場合、むやみにハイ・ポテンシーを与えてはならない。

- ポイント
 - ・低い生命力、鈍さ、怠惰、冷え。
 - ・新鮮な空気を渴望（換気したがる）。＜暖かく湿った天気（蒸し暑い天気）。
 - ・手足の氷の様な冷たさ；青白い。血液が流れず澱んでいる様な感じ。
 - ・過度の鼓腸；満腹感；一時的に>げっぷ。
 - ・ウエスト廻りの服のきつさに耐えられない。
 - ・消耗性の病気、出血、長い間の授乳、など 以来よくなるらない。
- その他の特徴
 - ・手術の後、お腹にたまったガスが出ないときに。
 - ・風が欲しいと言う。扇風機や団扇であおいで欲しい。
 - ・手足は冷たい。冷や汗。低血圧的。
 - ・寝る前に悪化。・身体を縛るものを嫌がる。

基本講座 3 終了